

急須

この急須の陶茶漉しは、急須の産地として名高い常滑にて高資陶苑が代々積み重ねた技術の上に発明したものです。広く緩やかな局面に無数の細かい穴があいた陶茶漉しは、香りや味の邪魔をする金氣を一切出さず、細かく柔らかい茶葉もしつかり漉したります。後引きしない注ぎ口の形状や先端の工夫、擦り合わされて気密性の高い蓋が可能にした洗いややすい広い開口部など、随所に急須に特化した技が注ぎ込まれた逸品です。末永くご愛用ください。

◎お手入れについて

・この急須の身と蓋は一対で窯に入り、仕上げに擦り合わされ、ピタリと添った掛け替えのない一対となります。替えがきかないので大切に扱ってください。

・ご使用の後、水かお湯でよく濯ぎ、水分をよく切つて内側を乾かせてください。

・茶漉しはとても繊細で、割れると修理ができません。爪楊枝などの硬いもので触ると簡単に割れてしまします。汚れが気になる場合は、しばらくお湯につけてから棕櫚のささらや歯ブラシなどで優しく擦ってください。身や蓋に着いた茶渋をとる場合も同様です。
・漂白剤を使うと塩素と匂いが残るので避けてください。
・注ぎ口と茶漉しの間の内部に茶葉の粉や茶渋が少しづつ溜まります。これが長年の蓄積で塊となり徐々にお茶の出を悪くします。急須のお茶の出が悪くなるのはこれが殆どの原因です。これを硬いもので掃除をすると茶漉しが簡単に割れてしまうます。「茶漉し箒」という専用の道具を使うか、弊社にお申しつけください。

製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございまして、ご購入店または左記までご連絡ください。

東屋

〒150-10033

東京都渋谷区猿楽町五一十四 #110六

〇三一六四三三一七九八二

contact@azmaya.co.jp

www.azmaya.co.jp

素材／烏泥・朱泥 一産地／愛知県常滑市 一 製造／高資陶苑
デザイン／猿山修 ▶ 一制作／東屋 ■■■